

## 令和7年度 肝属地区障がい者基幹相談支援センター「権利擁護研修」

開催：令和7年10月29日（水） 会場：鹿屋市社会福祉会館 大会議室

### 参加者アンケート

- ・利用者様の中で引きこもりの方がいます。本人へのかかわりしか持てておらず、家族とも関係を持ち支えることが本人支援へとつながる事を学ばせて頂いた。事業所でも学ばせて頂いた事を共有し、利用者様やご家族等へ必要な支援を提供していきます。
- ・「空気を変える」事が大切だと思いました。民間ではないのでできることが限られてしまうが、この事を意識して「私たちにできること」を考えていきたい。
- ・不登校支援にはかなりの時間と労力（他機関との連携、本人や保護者への働きかけ）が必要であることがわかった。
- ・もっと聞きたい内容だった。
- ・実践の具体的な内容で聞きやすかった。
- ・事例を使つての講義で分かりやすく勉強になった。
- ・事例などは役に立つ話や、なるほどと思うことがあった。
- ・「人」として関係性の大切さ、そこから見えてくる支援の在り方を勉強させて頂いた。
- ・「空気」の共有をした上で変えていく必要があると感じた。
- ・不登校、引きこもりだけでなく、今、自分の日々の支援にも役立つ方法などもあるなと思った。
- ・事例がたくさんあり、考えることもたくさんあった。様々な視点、支援の方法があり、学びになった。
- ・権利擁護について知らないことが多く、まだまだ知りたいと思うことがあった。
- ・関係性（人）が最も大切だが再認識できました。専門性も必要ですが、人と人の仕事なので大切にしたいと思います。
- ・事例を交えて話してくださったので、鹿屋市の現状や支援方法などとても分かりやすくとても良かったです。
- ・自分たちが住んでいる鹿屋市において、事例を交えて具体的な支援が提供されていることに驚いた。大倉氏の支援の柔軟さや行動力、配慮など、今後の支援に役立てたい。実のある研修でした。
- ・不登校支援に関して、事例を用いながら、様々な取り組みをされていること等聞くことができて、大変勉強になった。私自身、相談支援を行っているが、引きこもりの児童も多く抱えています。今日、教わったことなどを踏まえ、対応方法に幅が広がると思う。
- ・身近な題材でとてもためになった。

- ・やはり「人対人」の信用性から始まると再認識できた。
- ・不登校児に対してのかかわり方（声のかけ方）や支援について知ることができ、相手を感じている空気から変えていくこと、関係性を築く必要があると学べた。
- ・何よりも1番こわいのは空気だということを聞いて本当にそうだと思った。不登校支援とは親、学校、専門機関がチームになってどれだけ大事に丁寧にできるかというところも、そうだよねと考えさせられた。全部「空気」が関係していることに気づかされた。雰囲気、空気をもっと考えていこうと思う。スローガン「誰もが自分らしく生きて、誰もが活躍できる地域社会を目指す」を基に頑張っていきたい。
- ・様々な方面からのアプローチが重要と感じた。
- ・事例について、もう少しゆっくり細かく聞きたかった。
- ・不登校になっている子との関係性の築き方、原因をしっかりと理解し掘り下げるという事が、本当に大切だと思う。一人になることが苦手な子に側についている子がいる（中2）。母親や父親や姉妹との関係性もとても良い感じなので、家族の関係性大切にしながら向き合っていきたいです。学校との連携もしっかり取れている。学校へ行きたいという気持ちも少しずつ出てきたので、今後も見守り、より添っていききたい。
- ・不登校児のケースを通して、今後学校との連携を増やしていければ良いと思った。事業所の不登校児も少しずつ利用日が増えており、継続して通ってもらえるように支援を続けていきたいと思う。
- ・事例をたくさん聞いて良かった。関係づくり、そのために相手にかける言葉、空気づくりが大事で、自分の在り方を考えさせられた。
- ・いろんな問題がある家族はたくさんある。その中でどうかかわり、その人が社会に出れるのか支援の仕方が聞いて良かった。
- ・放デイで不登校支援をしています。親の関わり方、子どもとのかかわり方、家庭支援など視野の広い講話でとてもためになった。掘り下げて理解を深めていきたい。
- ・人と関わる、知るということが勉強になった。会話をしていく中で表面上に見えない問題や課題点を見つけていくこと、時間がかかっても相手に寄り添い解決していくことの大切さを知れた。話も聞き取りやすく、わかりやすく、興味がわくことが多かった。取り組めることはすぐに行いたいと思った。
- ・「空気感」を読み取りながら「関係性」を築く話が良かった。
- ・アウトリーチ、おせっかい支援というものの理解、関係性から起きることが多い「ひきこもり」について理解できた。
- ・連携、環境づくりが大切。関係性を作るために情報を探す。
- ・関係づくり、やりとり、経験の話等参考になった。
- ・講師が魅力的な人だった。

## 研修風景

